

まちの話題



子どもたちに遊びと文化を



11月27日、第9回子どもまつりが、神埼市中央公民館、神埼中央公園体育館などで行われました。

「子どもたちにもつとゆとりを！遊びと文化を！」をキャッチフレーズに子どもから高齢者までの約6百人のボランティアの協力で41のコーナーが運営されました。

約5千6百人が参加し、各コーナーでは、子どもたちの笑顔が輝いていました。



はじめての運動会

12月2日、平成19年度乳幼児運動会（すくすくカーニバル）が、神埼中央公園体育館で行われました。

平成17年1月1日以降に生まれた市内の乳幼児65人が、ハイハイ競争やかけっこ競争などに参加。

ゴールで待っている両親などの呼びかけに、ニコニコ笑顔で走る子、スタートと同時に泣き出してしまいう子、ゴール直前で誰の顔を見たのか引き返してしまいう子などいました。

子どもたちの晴れ舞台に家族の笑顔やあたたかい声援にあふれた運動会となりました。



日頃の練習の成果を披露

11月18日、第2回神埼市子ども音楽の集いが、神埼市中央公民館で行われました。

今年も、市内の幼・保育園、小・中・高等学校から22団体（約7百人）が出演。子どもたちの息のあった合唱や楽器演奏に会場につめかけた保護者らは、大きな拍手を送っていました。



九年庵の紅葉あでやかに

11月15日から23日まで、九年庵の一般公開が行われました。

朝晩の冷え込みや好天に恵まれたこともあり、昨年の来園者を約2万人上回る約7万7千人の方々が九年庵の紅葉を楽しみました。



地域ぐるみで子育て

10月28日、神埼町鶴西区で、地域ぐるみわんぱく支援事業（鶴西公民館主催）が、子どもたちと保護者ら約40人が参加して行われました。



子どもたちは、老人クラブなどの指導を受けながらクラフトテープで熱心に楊子入れ、金魚などの作品を作りました。昼食は、準備から調理まで保護者と一緒に行い、白玉団子とカレーライスを作り、楽しく食べました。

「地域ぐるみわんぱく支援事業」は、神埼市の地域子育て支援事業で、本年度は27地区で行われています。少子・高齢化が進行する中、地域ぐるみでの交流事業は、今後ますます重要となってきました。

麦を使った食育

境野保育園（千代田町）、仁比山保育園（神埼町）では、「さが」と「食と農」絆プロジェクト（三神農業改良普及センター主催）により、麦をテーマに「食農教育」に取り組んでいます。境野保育園では、「千代田の農産物 麦を知る」を年間テーマに近くの田で麦の成長や収穫の観察などをし、小麦粉と園の畑で取れた野菜を利用してピザ作りなどを体験しています。



▲親子でうどん、団子づくり（境野保育園）

10月14日、15日には、年長児（23人）麦から小麦粉になるまでの工程を学び、小麦粉でできた食べ物を五感を使って当てるゲームなどを楽しみました。また、ふるさと先生の指導により、うどんの生地を園児たちが作り、

保護者といっしょにきんぴらごぼう肉うどん、うどん生地できなこ団子などを作りました。



▲天然酵母のパンづくり（仁比山保育園）

仁比山保育園では、「よーく噛んで味わおう！私がつったお芋入り天然酵母パン」をテーマに11月19日、20日、年中児（26人）がパン作りの体験をしました。

ふるさと先生の指導によるパン生地づくりでは、「おいしくなーれ」とみんなで心を込めて一生懸命練り上げました。干しぶどうを使った天然酵母づくりや一晩寝かせた生地に、保育園の畑で取れた芋を練りこんだ。パン生地を、オーブンで焼いて、みんなでおいしく食べました。また、小麦のスライドやさまざまな種類の芋を見せてもらい、食物に触れました。

自然と親しむ

11月4日、千代田の郷土と自然に親しむ会（藤永正弘会長）のイベントが、幼児から中学生、保護者ら約40人が参加して行われました。

マイクロバスで脊振山の中腹の登山口まで行き、そこから山頂を目指して山登り。途中の沢では、子どもたちがきれいな水に感動し、水を飲んでいました。すずめばちの巣やヒラタケの群落を見つたり、脊振の自然を満喫しながらの登山でした。昼食後は、ネイチャーゲーム（自然の中での体験遊び）で楽しい時間を過ごしました。

脊振小学校の子どもたちは、毎年11月、一番ヶ瀬克巳さん（脊振町）所有のビニールハウスでほうれん草の収穫体験をしています。

ほうれん草収穫体験

ほうれん草が作られている5棟のビニールハウスのうち1棟をご厚意で提供していただいています。

収穫したほうれん草は、家庭の食卓に並び、収穫の喜び、採れたて野菜のおいしさなどを体感しました。



自然の中で、互いに協力する大切さを大人も子どもも楽しみながら学びました。

市内初 消防支援隊発足

11月18日、消防団を支援しようとする神埼町尾崎西分の地区住民による「尾崎西分消防支援隊」(羽立有逸隊長)が、発足しました。



この取り組みは、市内初めて消防団OBら17人が隊員となり、火災時に初期消火や消防団の後方支援を行い、団員とともに地区の安全・安心を守ります。また、消火器や消火栓の使い方や住民に教えるなど、火災予防への啓発活動を実施する予定です。

支援隊に助言・指導する「支援隊顧問」も併せて組織されました。

地域でイノシシ対策

イノシシ侵入防止柵(アルミフェンス)の設置作業が、11月1日、脊振町東鹿路をはじめ町内12カ所で行われました。

中山間部の脊振町では、近年、特にイノシシによる農作物被害が深刻で、農家を悩ませています。これまでは、農地周辺に有刺鉄線を張り巡らせ、イノシシの侵入防止を図ってきましたが、効果は少なく、昨年度から国・県・市の支援を受け、柵の設置作業を進め、本年は、約25kmにわたる防止柵が設置されました。



急傾斜地での作業は、危険が伴います。地域の皆さんが力をあわせて行いました。

道路の危険箇所をチェック

11月18日、交通安全総点検が、神埼警察署前の国道34号、サピエ前の国道385号、駅北側の県道・市道などで行われました。

老人クラブ、車椅子利用者、視覚障害者、小中学校関係者、国・県・警察・市の道路管理者など約60人が参加し、3班に分かれ歩道の点検を行いました。「横断歩道用押しボタンの向きが車道向きにあるため大変危険」「車道と歩道の段差がありすぎ」「側溝蓋の穴が大きくて車椅子のタイヤが入り込み危ない」など問題点を調査・確認しました。



この日挙げられた問題点は、国や県、市などにより協議、改善していく予定です。

リサイクル施設を研修

11月7日、地区や家庭でごみの減量を進めるため、神埼町本堀地区の25人が、福岡県大木町の生ごみ、し尿・浄化槽汚泥のリサイクル施設「大木循環センター」ぐるん」や分別収集場「大木町リサイクルセンター」を視察しました。

午後には、市内の「三神地区汚泥再生処理センター」(千代田町)を視察し、汚泥やし尿が処理加工され、肥料やブロックとして再生される様子を研修し、環境に関する知識・関心を高めました。



バドミントン大会

11月25日、第1回神埼市バドミントン大会(神埼市体育協会主催)が次郎体育館で行われました。高校生以上、中学生以下の男子・女子のダブルスで行われ、市内より41ペアが参加し、熱戦が繰り広げられました。

各部門の優勝者は、次のとおりです。(敬称略)

- 高校生以上 男子の部
原 秀勝、宮地雅貴(神埼町)
- 高校生以上 女子の部
瀬戸彩佳、古賀望未(清明高)
- 中学生以下 男子の部
中島晃一、馬場誉斗
(千代田中)
- 中学生以下 女子の部
城島梨恵、久米絵里菜
(千代田中)

白石さんに スポーツ優秀賞

11月19日、神崎市役所で第62

回国民体育大会「秋田わか杉国体」のソフトボール少年女子で優勝した佐賀女子高2年白石敦美さん（千代田町）に神崎市スポーツ賞優秀賞が贈られました。

この賞は、スポーツで優秀な成績を収め、神崎市のスポーツ振興に貢献した個人や団体に贈っているものです。

少年女子チームは、佐賀女子高を中心に県内4校の選抜選手により出場。準決勝、決勝が雨で中止になったため、兵庫など4県で分け合つての優勝となりました。県勢優勝は成年女子以来、31年ぶり2度目で少年女子は初めてです。



総務大臣表彰

地方自治法施行60周年に伴う

監査自治功労者として、山崎貞次さん（神崎町）と角田清吾さん（千代田町）が、総務大臣表彰を受賞されました。

山崎さんは、4期13年6月、角田さんは、3期12年1月と、長年にわたり監査業務に従事され、公正で合理的かつ能率的な出納事務の確立のため、違法、不正の指摘にとどまらず、的確な指導により、旧町の財政基盤の確立などに多大な貢献をされました。

農林水産大臣表彰

久富正義さん（千代田町）が、農林水産大臣表彰を受賞されました。

久富さんは、評価員、共済部長、農業共済組合理事、また農業委員や地域の生産組合連絡協議会長を務められるなど農業共済への貢献、地域農業の発展にもご尽力され、その功績が認められました。



▲久富正義さん



▲角田清吾さん



▲山崎貞次さん

母子保健推進で表彰

石田千津代さん（千代田町）が、全国母子保健推進会議会長表彰を受賞されました。

石田さんは長年にわたり母子保健推進員として、母子保健に関する知識の普及、啓発および行政サービスの橋渡しをしながら、子育て中のお母さんの相談役としての訪問活動など積極的に活動されました。また、長年協議会会長として、母子推進員の役割や、意識の高揚に努められたことが認められました。



▲石田千津代さん

読み聞かせて地域を支え

千代田おはなし会「ケムケム」（佐藤悦子代表）が、佐賀県読書推進協議会から表彰されました。

現在、20代から70代のメンバー約30人で活動。千代田町内の小学校の「朝の読書タイム」での絵本の読み聞かせや子どもクラブ、デイサービスなどのおはなし会など、「0歳から100歳までおはなしのたねをまこう」をキャッチフレーズに活動されています。

会では、メンバーを募集中です。問い合わせは、代表の佐藤さん（☎44-4601）まで。



統計グラフコンクール

平成19年度統計グラフ佐賀県コンクールで、市内から次の2人が入賞されました。

○県特選（知事賞）
嘉村由菜さん（東明館小2年）



○県入選

八谷朋美さん（神崎小6年）



県から優秀な20点が第55回統計グラフ全国コンクールに出品され、八谷さんの作品が佳作となりました。